## Wはおれていたが立たより

発 行 公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団 〒168-0072 杉並区高井戸東4-10-26 TEL 03-5346-3250 FAX 03-5346-3253 https://sugi-jigyodan.or.jp/

## 8月22日(金) 企業見学会を実施しました

8月22日に障害者雇用を進める企業「株式会社 ジャックス」様にご協力いただき、見学会を実施しました。今回参加したのは区内事業所・就労支援機関の支援者合わせて10名。 恵比寿にある本社ビルの執務室やメール室を見学した後、実際に障害者雇用のメンバーの支援を担当するジョブサポーターの方からお話を伺いました。





株式会社ジャックスの恵比寿本社では、障害者雇用のメンバーによる「ハートフルチーム」が事務補助業務を行っています。ハートフルチームは、精神障害のある方を中心に構成されており、支援者2名が常駐してメンバーの仕事や体調面のサポートを行っています。 業務内容はパンフレットの丁合・封入・封緘や郵便物の授受などの軽作業またはPC作業。ハートフルチームの作業の正確性は社内でも定評があり、他部署からの業務依頼も増えているそうです。軽作業は2名でダブルチェックするしくみになっており、作業に時間がかかるメンバーには納期が迫っていない業務を依頼するなど円滑に業務を進めるための工夫がなされていました。

見学会後半の質疑応答・ケース紹介では、参加者からさまざまな質問が飛び交い、ジョブサポーターの方のお話に一同おおいに刺激を受けました。なかでも、メンバーが休職した際にジョブサポーターの方が電話での面談を毎週継続し、不安を和らげて復職につなげたお話は、企業の障害者雇用に対する熱意が感じられるエピソードでした。

## 訓練プログラムの紹介/発音・発声とコミュニケーションのプログラム



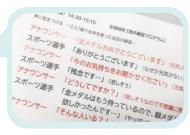
あいうえお	いうえおあ	うえおおい	えおあいう	おあいうえ
かきくけこ	きくけこか	<けこかき	けこかき<	こかきくけ
さしずせそ	しすせそさ	すせそさし	せそさしす	そさしすせ
たちつてと	ちつてとた	つてとたち	てとたちつ	とたちつて
なにぬねの	にぬねのな	数ねのなに	ねのなにぬ	のなにめね
はひふへほ	ひふへほは	ふへほはひ	へほはひふ	ほはひふへ
まみむめも	みむめもま	むめもまみ	めもまみむ	もまみむめ
やいゆえよ	いゆえよや	ゆえよやい	えよやいゆ	よやいゆえ
らりるれろ	りるれろら	<b>るれろらり</b>	れろらりる	ろらりるれ
わいうえお	いうえおわ	うえおわい	えおわいう	おわいうえ
がぎぐげご	ぎぐげごが	ぐげごがぎ	げごがぎぐ	こがぎぐげ
ざじずぜぞ	じずぜぞざ	ずぜぞざじ	ぜぞざじず	そざじずぜ
だじづでど	じづでどだ	ずでどだち	でどだちづ	とだぢづで
ばびぶべぼ	びぶべぼば	ぶべほぼび	べほばびぶ	ほばびぶべ
まびぶべほ	びぶべほば	ひおぼんだ	べほばびぶ	ほばびぶべ

前半は呼吸・発声・活舌の練習を行いました

ワークサポート杉並の障害者雇用支援センター(就労移行支援事業所)では、毎週火曜日に「学習時間」を行っています。コミュニケーションスキルの習得や自己理解・他者理解を進めることを主な目的としており、訓練生が興味関心のある内容を発表したり、職員が考案した自作プログラムを実施しています。今年度から学習時間に不定期で開催しているのが、職員による「発音・発声とコミュニケーションのプログラム」。毎回プログラムの前半は、腹式呼吸の基礎や滑舌練習などを取り入れ、就職面接の場などで聞き取りやすく話をするための練習を行っています。







後半は職員の自作台本を使ってセリフの朗読を行いました

プログラム後半はコミュニケーションの練習を行います。ある日の学習時間では参加者がペアになって、短い台本を使ったセリフの朗読を楽しみました。役を交換したりペアを交換したりしながらやり取りを繰り返していくと、各テーブルで自然に笑いが起き、場が和やかになっていきました。プログラムの締めくくりは「他己紹介」。参加者が再度ペアになって、お互いの食についての好みをインタビューし、相手から聴き取った内容をメモに書き取ります。最後にインタビューした内容を一人ずつ発表しました。

「話す・聞く」は、就労後も必要なビジネススキルの基本です。訓練では日々の作業での 報告・連絡・相談の指導に加えて、楽しくスキルを身につける取組みも行っています。

## 就職しました(7・8・9月)

事務・事務補助5名 衣料品商品整理・接客1名 保育補助1名 看護補助1名 システム監視1名 清掃2名 水耕栽培1名 (合計12名)